

加護へ

この手紙をもって私のW(ダブルユー)としての最後の仕事とする。
まず、私の怒りを解明するために、矢口真里に人間サンドバックになる事をお願いしたい。
以下に、スキャンダル後の復帰についての愚見を述べる。

芸能活動の復帰を考える際、第一選択はあくまで記者会見での謝罪であるという考えは今も変わらない。

しかしながら、現実には私自身の場合がそうであるように、激写された時点で無関係の私までが芸能人としてのテレビ出演や雑誌出演がオールキャンセルという進行症例がしばしば見受けられる。その場合には、アダルトビデオを含む、露出系の仕事が必要となるが、グラビアアイドル以外では、残念ながら未だ満足のいく成果には至っていない。

これからのスキャンダル後の芸能活動復帰の飛躍は、謝罪以外の発展にかかっている。

私は、君がその一翼を担える数少ない喫煙アイドルであると信じている。

おっぱいを持った者には、それを正しく行使する責務がある。

君には着エロの発展に挑んでもらいたい。

遠くない未来に、フライデーによる死がこの世からなくなると信じている。

ひいては、私のペチャパイを病理解剖の後、君の研究材料の一石として役立てて欲しい。

屍は生ける師なり。

なお、自らコンビアイドルの第一線にある者が、相方の喫煙を早期発見できず、根治不能の副流煙による肺癌で死すことを、心より恥じる。

辻希美